

薬剤師



山本地域振興局 福祉環境部
環境指導課 環境・食品衛生班
技師 佐藤 清隆

経歴 採用7年目

H28年 山本地域振興局 福祉環境部
環境指導課
環境・食品衛生班
H26年 生活環境部
健康環境センター
環境保全部
H24年 入庁
仙北地域振興局 福祉環境部
環境指導課
環境・食品衛生班

ある日のスケジュール

7:00 出勤(自家用車)
8:30 朝礼・朝コミ
9:00 メールチェック、
スケジュール確認
10:00 収去検査(食品の行政検査)
のため食品営業施設へ
11:00 収去した検体を運送業者へ
引き渡し
12:00 昼食
13:00 収去した検体の検体票作成
(検体の詳細な情報を分析
機関へ送付)
14:00 食品営業施設の許可調査へ
15:00 帰庁、日報・報告書作成
16:00 講習会の資料作成
17:00 収容犬の飼養管理
17:15 退庁
18:30 帰宅

わたしの職場はこんなところですよ

環境指導課では、食品衛生、動物愛護、環境衛生など幅広い業務を行っています。住民の生活に直結する分野のため、時として柔軟かつ迅速な判断が必要となります。難しい案件が発生した際は職員全員で意見を出し合い、解決に取り組んでいます。職場の雰囲気はとても明るく、仕事の節目には必ず懇親会を開催するなど、和やかな職場です。

わたしは今、こんな仕事をしています

主に食品衛生業務を担当しています。飲食店や食品製造施設に立ち入りをして、営業許可の調査や衛生指導を行うとともに、万が一、食中毒が発生した場合は調査を実施します。そのほか、食品衛生、動物愛護に関する相談への対応や各種講習会などを行い食品・動物愛護行政を普及・啓発する業務もあります。

秋田県のここが好き！

県職員になってから県外の様々な土地を会議、学会などで訪れましたが、食べ物は秋田が一番！この歳になって気づかされました。

食品衛生の業務を行っている日々、様々な料理、食品に出会うことができ、食文化の豊かさを感じます。また、秋田は近くにスキー場がたくさんあります。スノーボードで楽しんだ後は、温泉で疲れを癒し、気持ちをリフレッシュするのがおすすめの息抜きです。

薬剤師職のやりがいはここ！

薬剤師は様々な分野・場所で仕事をすることができます。採用当初は環境衛生の業務に携わり、3年目からは分析機関で環境分析の業務を行ってきました。現在は、食品衛生の担当となり、様々な視点で物事を考えることができるようになりました。薬学部で学んだ知識を存分に活用できることが行政で働く薬剤師のやりがいだと思います。病院や薬局での調剤業務の道にとらわれず、県職員となって薬剤師としての総合的な知識を生かしてみませんか。

採用試験の準備はどのようにしましたか？

県の採用試験は長丁場なので、薬剤師国家試験勉強との両立が必要です。採用の条件は「薬剤師免許を取得していること」となっているため、薬剤師国家試験に合格することが前提です。国家試験の勉強に重きを置きつつ、採用試験の勉強は1日に何時間と時間を決め、毎日コツコツと積み重ねていくことが大切だと思います。国家試験の勉強に行き詰まった時に採用試験の勉強をすると、リフレッシュできていたような気がします。

採用されて7年、どんな変化、成長がありましたか？

私が所属している福祉環境部は、保健所や福祉事務所としての業務も行っています。環境指導課では、保健所として日々、様々な苦情や相談、緊急の連絡があります。

入庁した当時は、電話対応で焦って早口になったり、正確な情報を伝えることができない事が多々ありました。現在では話しをしっかりと聞いた上で自分の中で考えをまとめてから話すことができるようになり、物事を判断する際に焦らなくなった気がします。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

私は大学在学中、薬剤師の仕事は病院、薬局、製薬会社等の医薬品に関する仕事しか思い浮かびませんでした。しかし、県職員は環境衛生や食品衛生など様々な知識・技術を身に付けることができ、広い視野を持つことができます。同じ薬剤師として秋田県の公衆衛生の向上のため一緒に働きましょう。

薬剤師



秋田地域振興局 福祉環境部
健康・予防課 健康・予防班
技師 川口 幸

経歴 採用2年目

H29年 入庁
秋田地域振興局 福祉環境部
健康・予防課 健康・予防班
H24年 調剤薬局勤務

ある日のスケジュール

8:00 出勤(自家用車)
8:30 朝礼・朝コミ
9:00 電話・窓口対応、
メールチェック
10:30 店舗販売業許可更新のための
現地調査
(掲示・書類・構造設備関係)
12:00 昼食
13:30 薬局立入調査
15:00 電話対応、
販売業許可証・麻薬取扱者免
許発行業務
16:00 薬物乱用防止キャンペーンの
実施に向けた打ち合わせ
16:30 管内薬局にて麻薬廃棄
17:15 退庁
18:30 女子会

わたしの職場はこんなところです

秋田地域振興局福祉環境部健康・予防課は、薬剤師の他に保健師、管理栄養士、放射線技師で構成されています。比較的女性が多く、課内には2名の薬剤師が在籍しています。

医療機関等の許認可や、身体や心に関する健康づくり、感染症対策、献血推進事業など、それぞれの専門的知識を活かして業務を担当しています。

わたしは今、こんな仕事をしています

医薬品や毒劇物等の販売業に関する許認可や、薬物乱用防止啓発事業、献血推進事業を担当しています。

薬物乱用防止事業では、学生や様々な協力団体と共に啓発キャンペーンを実施して違法薬物の怖さや正しい知識の普及に努めています。また地域住民の方々に向けた出前講座なども行っています。

秋田県のここが好き！

県内外での調剤薬局勤務を経て入庁しましたが、友人や家族とキャンプ、登山、ロードバイク、スキーなどいつの間にかアウトドアな趣味が増えました。四季折々のスポーツと季節を楽しめるのが秋田ならではの良さだと思います。

運動した後に食べるおやつやご飯を求めて、これからも県内を巡りたいです。

薬剤師職のやりがいはここ！

前職での知識や経験を活かして業務に取り組むことができています。薬剤師は医療現場で勤務するイメージがありますが、行政薬剤師という仕事は医療現場だけではなく、医薬品や医療に携わる様々な機関と関わりを持ちながら業務を行うことが出来る面白さがあると思います。

入庁前に抱いていたイメージは実際に働いてみて変わりましたか？

デスクワークがほとんどだというイメージを持っていました。しかし、街頭キャンペーンや立入調査など出張は思っていたより多いと感じています。調剤薬局では来局する患者さんへの対応が業務の大部分を占めていましたが、今は自分から外に出て、様々な協力団体や相手先の方々と連携を取りながら一つの事業を進めています。

オフは何をしていますか？

調剤薬局勤務時は平日休みのシフトだったので、今は土日休みがとて有り難いです。連続した年次休暇や夏期休暇も取得しやすいので、去年は人生で初めて海外旅行に行きリフレッシュすることができました。普段は友人と食事に行ったり、映画やコンサート鑑賞に出かけたりしています。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

行政薬剤師の仕事は、医療現場や医薬品に関わる業種の方々を根元から支えるとても大切な役割を担っていると感じています。

平成28年度採用試験から薬剤師職は「選考採用試験」に切り替わりました。より行政薬剤師の道を選びやすく、また、受験しやすくなっていると思います。秋田県の職員として、皆さんも一緒に働いてみませんか。